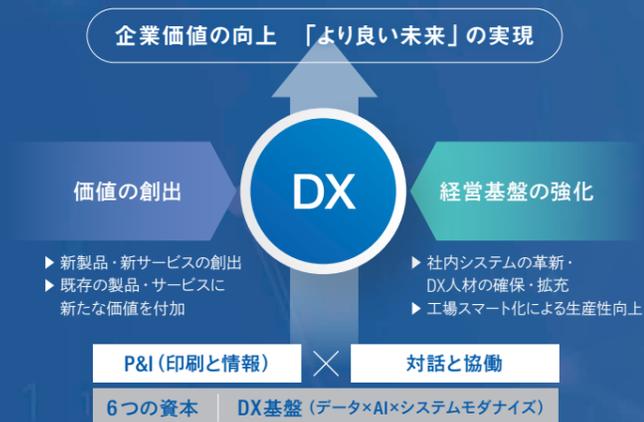


デジタルトランスフォーメーション (DX) による価値創造

DXによって「P&I」の強みをさらに高め、「価値の創出」と「経営基盤の強化」の両輪でビジネス変革と競争力向上を推進します。

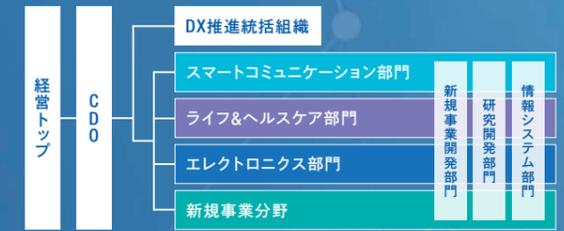
DNPのDXは、事業ビジョン「P&Iイノベーション」による価値創造そのものであると位置づけています。「P&I」(印刷と情報)の強みを最新デジタル技術やデータ活用でさらに進化させ、独自の製品・サービス、ビジネスモデルの創出や洗練されたオペレーションによって、競争優位性を確立していきます。

中長期の事業ポートフォリオ戦略のもとでビジネスモデルを創出・変革する「価値の創出」と、社内システムの革新、生産性の飛躍的な向上によって、事業競争力を高める「経営基盤の強化」の両輪で方針を定め、DXによる価値創造を推進しています。



推進体制

代表取締役社長が任命する最高デジタル責任者 (CD0: Chief Digital Officer) が、全社のDX関連の取り組みを統括しています。本社に専任の「DX推進統括組織」を設置し、堅牢なサイバーセキュリティと適切なAIガバナンス体制のもと、各部門が横断的に連携しながら、全社でDX推進施策を実施しています。



ガバナンス

サイバーセキュリティ対策

経済産業省「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」に基づき、セキュリティインシデント発生時に適切な対応を行う組織「DNPシーサート (CSIRT)」を設立。グローバル拠点を含めた国内外の統制を図るとともに、グループ全社員への教育、AI活用による脅威検知、工場セキュリティ強化を推進しています。さらに、インシデントからの迅速な復旧を見据えたレジリエンスの強化にも取り組んでいます。

AIガバナンス

「DNPグループAI倫理方針」を策定し、継続的に社員を教育するなど、AIガバナンスとその信頼性を確保する仕組みを構築・推進しています。

価値の創出

P&Iの強みを活かした変革

P&Iイノベーションと6つの資本の強みをDXで掛け合わせ、企業・団体・生活者・社会と共創する価値循環を拡大します。「P&I」(印刷と情報)の強みを先進的なデジタル技術やデータ利活用でさらに進化させ、エンジニアリングチェーンやバリューチェーンを変革します。調達・設計・製造・流通および顧客接点に至るまで、情報加工・伝達の多様化・最適化・豊かな表現を通じて、スマートコミュニケーション、ライフ&ヘルスケア、エレクトロニクスの3部門で持続可能な成長と社会課題の解決を実現します。

経営基盤の強化

社内DXによる生産性の向上

P&Iイノベーションを全社で推進するため、ケイパビリティとなるDX推進人材・組織風土・DX基盤を強化しています。経営・企画・営業・製造・研究開発など全領域でDXを推進し、業務プロセスやオペレーションの高度化によって生産性を飛躍的に向上させ、価値創造ストーリーに基づく事業競争力の持続的強化につなげています。

DX推進人材と組織風土

リスクリングしたDX人材が新規事業を支える ▶P60

人材ポートフォリオに基づき、「DNPのDX」を実現できる人材を育成しています。例えば、事業構造改革の一環として、リスクリングでDXスキルを習得した人材をXRコミュニケーション事業に配置転換し、メタバース開発による価値創出を担当しています。

データやAIを積極的に活用する風土の深化

データや生成AIの活用を全社で加速するため、デザインシンキングなどで課題解決力や提案力を高めるとともに、アイデアソンやユースケース共有によって自発的な挑戦を促し、互いに賞賛しあう環境を整えています。さらに、ノーコードツールの導入により、一人ひとりが業務変革を実現し、生産性と価値創出力の向上につなげています。

DX基盤



「データマネジメント基盤」「AI活用プラットフォーム」「システムモダナイゼーション」で構成するDX基盤を継続的に高度化して、持続的な企業成長を実現しています。

データマネジメント基盤の目標

指標	2024年度末実績	2025年度末目標
利用者数	7,069名	10,000名
データ分析者数	703名	1,000名
分析・可視化されたレポート数	1,356本	1,800本

変化に強い業務基盤への進化

業務の標準化が可能な領域では共通システムを導入し、効率とコスト最適化を推進しています。変化の激しい事業領域では、各部門の競争力を高めるために柔軟でデータ活用に適したシステムを構築。全社のスピード経営と変化対応力の向上を図っています。

生成AIの活用で生産性を飛躍的に向上

先進的なAIモデルを活用し、研究開発での新材料探索や品質分析、製品・サービス開発に関する特許の調査・出願、法規制の調査など、特化した領域で自動化を推進しています。従来業務の50%以上を自動化するなど、生産性を飛躍的に向上しています。

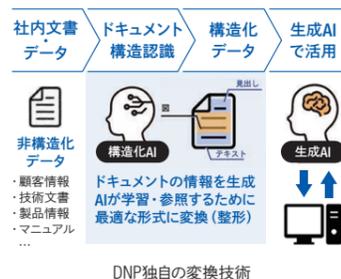
データドリブンによるスピーディな経営の実現

膨大な情報の集約・活用を支える「データマネジメント基盤」を構築。経営ダッシュボードにより、事業環境の変化やリスク発生の兆しなどを早期に掴み、経営陣の迅速な判断を実現しています。また、需要予測や投資管理などデータの「民主化」を通じて社員の意思決定を支えています。

知の継承から創る AIと協働する社会

DNPIは企業・団体が保有する知を再資本化し、AIを有効かつ安全に利用できる「AI-Ready」な社会の実現に取り組んでいます。

多様かつ大量な情報処理で培った「文書の構造化技術」と最新の生成AIを掛け合わせた「構造化AI技術」により、企業・団体内のデータをAIに最適な構造へ変換することで、データの価値を最大化し、人とAIの協働社会を構築していきます。



リアルとバーチャルの新しいコミュニケーション

年齢・性別・国籍等の多様な属性によって分け隔てられることなく、リアルとバーチャルの双方を行き来できる新しいコミュニケーションと経済圏をDNPは創出しています。

印刷プロセスで培った「高品質な表現技術」と「大量の情報処理能力」を「高精細3D技術」へと深化させ、安全・安心なデータ流通を伴ったXR (Extended Reality) バーチャル空間での体験価値を向上しています。



製造変革で 循環型社会に貢献

サプライチェーン全体で高度なデータ連携を行い、生産計画の柔軟性を高めて市場投入までの時間を短縮するほか、省エネや資源循環・製品リサイクルなどで社会課題の解決に貢献しています。

作業計画や移動経路等の最適化計算を高速で行うアニーリング技術を活用し、自社工場の工程改善や自動化による生産性向上を実現しています。

